

活力ある緑の産業を築く



寺尾さんは学校等で花卉栽培指導にも当たっています。

◀「論文部門」—将来の農業と農家生活について—
寺尾勇さん（二六）
—宇土市権原町—
土作り運動の推進と連帯意識の涵養などを実践活動の上に立って訴えました。



▲第15回農業コンクール大会表彰式

▼タバコの苗床づくり作業



◀「組織農業部門」—白川ニコチアナ組合—タバコ—（代表者後藤光男さん他八名）
—阿蘇郡白水村吉田—
仲間意識による共同作業で今日の栄冠を勝ち取りました。

▼「自立経営部門」—そ菜—
西岡邦夫（38）多喜子さん（34）夫妻
—鹿本郡植木町色出—
意欲と創意工夫によるハウス栽培（スイカ、キュウリ）の成果が実のりしました。



▲スイカ定植後の整枝作業



▲甘夏ミカンを採取する松本さん

▶「新人王部門」—甘夏ミカン—
松本喜作さん（二四）
—芦北郡芦北町米田—
持ち前のがんばりで、専業化への規模拡大を図っています。

県農業を担う農家群

—県農業コンクール秀賞者たち—

第15回熊本県農業コンクール大会（昭和49年度）は、自立経営部門、農業新人王部門、論文部門、組織農業部門に87点が参加、審査の結果、各部門の秀賞が決まりました。

ここでは、農業に意欲をかきたて、創意工夫をこらし、豊かな農業の実現に取り組んできた秀賞者たちを紹介します。